

令和6年度 伴走支援実施施設成果報告

施設名： 特別養護老人ホーム 慈光園

所在地： 山形県長井市

定員： 140名



1 伴走支援に応募した理由

職員の平均年齢上昇、人員確保がままならず、サービスの質・量の低下を懸念していた。その為、ICT等介護ロボット導入による業務効率化とサービスの向上を円滑に推進できるように支援を得るため応募した。

2 生産性向上委員会設置

① 生産性向上委員会設置・・・ 令和6年4月1日設置

《メンバー構成》

介護課6名(1)、医務課1名、デイサービス2名(1)、ケアハウス1名(1)、生活相談員1名(1)、ショートステイ1名、居宅支援事業所1名(1)、経理課1名 計 14名(5名) ※()内は役職者の人数

② 活動状況

- ・ 月1回開催 ※ 勉強会も含む

3 活動目的

- ① ご利用者のQOL向上に資する
- ② 介護の質向上に資する
- ③ 業務効率化、労働量の削減

4 生産性向上委員会の取組み

- ① 活動目的における現状と課題の抽出と分析
- ② 課題解決可能なICT等介護機器の選定とトライアルの実施
- ③ トライアル実施後の評価と分析
- ④ 導入機器の選定
- ⑤ 導入後の評価

※上記はセンターからの伴走支援(助言及び指導)を受けた取組みも含まれます

5 令和6年度ICT等導入前の状況

- ① 介護保険導入前から東経システムの介護ソフトを使用している
- ② 令和2年度からインカム(ラジオ波)を導入し、職員同士の情報共有が素早くとれる反面、繋がらない場所があった
- ③ 令和5年度に介護ソフト【見るタッチⅣ】及びタブレット20台導入した。その結果、その場で記録ができるため、転記がなくなり記入漏れが少なくなっただけでなく、ペーパーレス化も実現。しかし、画面が小さい、手間がかかるなど操作性への課題があった。

6 活動目的における現状の課題と分析

(1) 課題抽出の方法

各部署の定期カンファレンスにおいて現状の課題を抽出

(2) 現状の課題を基に委員会にて分析

No.	現状の課題	分析結果
①	ラジオ波のため、インカムが繋がらない場所がある。情報共有がうまくいかない。	Wi-Fi設備・インカム
②	転倒高リスク者の見守りに、身体的、精神的負担を感じる。	見守り機器
③	時間内に業務が終わらない (入浴・排泄などが原因)	入浴機器・排泄予測機器
④	記録の時間がとれない	入浴機器・見守り機器
⑤	中腰の姿勢が辛い(排泄・移乗)	アシストスーツ 移乗介助ロボット
⑥	排泄のタイミングが合わず介助量が増えている	排泄予測機器・Wi-Fi設備 見守り機器・インカム

7 課題解決のためのICT等介護機器の選定とトライアルの実施・評価と分析

【今回導入した機器】

(1) 見守システム 《眠リスキャン》

① ねらい

- ・ ベッド上での利用者の状態把握、転倒などの危険予知ができる

② 効果と職員の評価

- ・ ご利用者の状態が可視化できることで安心感が違う
- ・ 職員の身体的、精神的負担の軽減につながる可能性が高い
- ・ 根拠に基づいた個別ケアができる
- ・ モニターに映っている状態と違いがあり戸惑った

③ 導入後の課題解決の期待度 ⇒ 高い

(2) 業務支援 《クリアトークカム》

① ねらい

- ・ リアルタイムで複数人と情報共有ができ、眠りスキャンと連携することより、音で通知がくるため素早い対応ができる

② 効果と職員の評価

- ・ 全棟の職員と素早く連携が取れることは助かる
- ・ 眠りスキャンの通知が音で入るのは、安心感が違う
- ・ 職員の身体的、精神的負担軽減につながる可能性が高い

③ 導入後の課題解決の期待度 ⇒ 高い

(3) 入浴支援 《ミスト浴》

① ねらい

- ・ 高い温浴効果入浴・入浴時間の短縮・業務量の削減光熱水費の削減

② 効果と職員の評価

- ・ ご利用者にかかる身体的負担が少ない
- ・ 入浴介助時間の短縮につながる可能性がある
- ・ 使い方に戸惑う

③ 導入後の課題解決の期待度 ⇒ 高い

(4) 移乗支援 《Hug》

① ねらい

- ・ 職員の腰痛予防及び身体的負担の軽減に期待できる

② 効果と職員の評価

- ・ トイレ誘導、入浴時の移動が軽減
- ・ 使用できるご利用者が限られる

③ 導入後の課題解決の期待度

- ・ 特別養護老人ホーム ⇒ 低い
- ・ デイサービス ⇒ 高い

※ 今回伴走支援を受けた特養のほか、同一建物内にあるデイサービスも含めて
トライアル・検討がなされた

【今回導入しなかった機器】

(5) 移乗支援 《アシストスーツ》

- ① 職員の腰痛予防、身体的負担の軽減に期待してトライアル実施したが、思うように動けない、装着していると暑いなどの評価があり、**導入後の課題解決の期待度は低い**と判断して導入せず

(6) 排泄予測機器 《Dfree》

- ① 排尿のタイミングを事前に察知することで、トイレ誘導、おむつ交換など介護負担が軽減することを期待してトライアルしたが、目に見えない部分なだけに見える化で目安にはなったものの、**導入後の課題解決の期待度は低い**と判断して導入せず

《センターからの一言ポイント》

抽出された課題に合わせて、機器の検討を行い、実際にトライアルすることで事業所にとって何が有効なのか、操作性は職員に合っているのか、安全性はどうかなど『機器選定(決定)』に現場職員が係わることで効果的に活用できる機器の選定ができていることがポイント！

8 導入機器の選定

- (1) 眠リスキャン
 - ・ 特別養護老人ホーム
(160台)
- (2) クリアトークカム
 - ・ 特別養護老人ホーム
(50台)
- (3) Hug(移乗サポートロボット)
 - ・ デイサービス
- (4) セレーノ(ミスト浴槽)
 - ・ 特別養護老人ホーム(寝台浴)
 - ・ デイサービス(チェア浴)



令和6年12月導入

9 導入後の変化

(1) 「ご利用者のQOL向上」から見た変化

- ・ 通知設定により、ご利用者の動きが予測でき安全性が高まった
- ・ 業務時間の削減によって生まれた時間を有効活用し、個別ケアが充実してきた

(2) 「介護の質向上」から見た変化

- ・ 危険予知など、早期に対処できるようになった
- ・ 直接介護に充てる時間が増えている
- ・ 円滑な情報共有で、ご利用者への対応、統一性が高まった

10 「業務効率化及び労働量削減」から見た変化

(1) アンケート調査

眠りスキャン、クリアトークカムを使用する職員(介護職員・看護職員)に導入前、導入後(1か月後)のアンケート調査を実施

① 身体的負担を感じる時間帯はありますか？

	導入前	導入後	差
ない	6.2%	15.3%	9.1%増
ほぼない	0%	3.4%	3.4%増
どちらともいえない	17.2%	16.9%	0.3%減
多少ある	39.1%	42.4%	3.3%増
ある	37.5%	22.0%	15.5%減

導入前に比べ、身体的負担が「ない」・「ほぼない」が**12.5%増加(↑)**

② 精神的負担を感じる時間帯はありますか？

	導入前	導入後	差
ない	25.0%	18.6%	6.4%減
ほぼない	7.8%	3.4%	4.4%減
どちらともいえない	12.5%	15.3%	2.7%増
多少ある	29.7%	44.1%	14.4%増
ある	25.0%	18.6%	6.4%減

導入前に比べ精神的負担が「ない」・「ほぼない」が10.8%減少(↓)

③ 休憩時間の確保はできていますか？

	導入前	導入後	差
確保できている	26.6%	27.6%	1.0%増
ある程度確保できている	32.8%	39.7%	6.9増
どちらともいえない	25.0%	17.2%	7.8減
あまり確保できていない	14.1%	13.8%	0.3減
全く確保できない	1.6%	1.7%	0.1増

導入前に比べ「確保できる」・「ある程度確保できる」7.9%増加(↑)

④ 時間外での勤務はありますか？

	導入前	導入後	差
時間外勤務はない	43.8%	50.8%	7.0%増
時間外勤務はほとんどない	14.1%	13.6%	0.5%減
どちらともいえない	14.1%	11.9%	2.2%減
多少時間外勤務はある	25.0%	18.6%	6.4%減
時間外勤務はある	3.1%	5.1%	2.0%増

導入前に比べ「時間外勤務はない」・「時間外勤務はほとんどない」が
6.5%増加(↑)

11 取組み活動を通じて得た気づき

- (1) 法人がICT等介護ロボット導入することを宣言したことが重要
- (2) 機器を取り扱う介護員から、現場の課題を抽出して機器を選択することが重要
- (3) 単年度だけで成果を出すことは難しいが、数年かけてICT等介護ロボットを導入したことで現在の成果が出ている

《センターからの一言ポイント》

経営者層と現場職員とが同じ方向性を向いて、同じ理想の形を明確にしているだけでなく、認識の共有がなされていることはポイント！

12 展望と今後の課題(まとめ)

(1) これから取り組む課題

- ・ 個別ケアに結びつく、使用方法の勉強会
- ・ 人の労働 ⇒ ICT等テクノロジーや介護ロボットの活用をさらに深める

(2) 事業所としての今後の方針

- ・ ノーリフティングケアに係る研究と導入検討
- ・ 介護アシストスーツに係る研究と導入検討
- ・ 排泄介助・支援機器に係る研究と導入検討
- ・ クックサーブ ⇒ ニュークックチルへの変更

《センターからの一言ポイント》

「モノ」だけではなく、様々な面で検討されていることがポイント！